



# 2月2日(金) 学校朝会



吉田校長先生のお話

## 【ともに】

もう早いもので2月です。今年は元旦から能登半島で大きな地震の被害が出てしまいました。

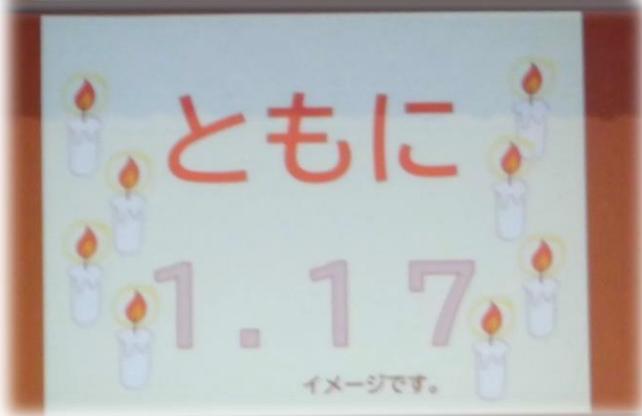
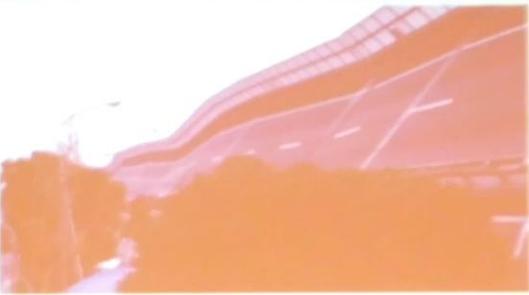
今から29年前の1月17日にも神戸市で大きな地震があり その時の悲しみを忘れず普段から災害に備えることや生きることの大切さを語り継ぐために毎年1月17日に追悼のつどいが開かれています。

追悼のつどいには沢山の灯籠が並べられ今年は【ともに】と並べられました。この言葉には、能登半島で悲しい思いをしている方たちへの一人じゃないよ、一緒に頑張ろうという気持ちが込められています。人は一人では生きていけません。私たちは つながっているから勇気や希望を持ち悲しみを乗り越えられるのですね。

最後に良いお話をします。ある方からのメールが届きました。「自転車に乗っていたおじいさんが急にふらつき倒れてしまいました。信号待ちをしていた小学生数人がちゃんと信号が青になるのを待ってから 自転車ごと倒れたおじいさんに駆け寄り優しく声をかけていました。私は運転中を理由に助けに向かわなかった恥ずかしい大人ですが、その小学生の行動が素晴らしく感心しましたのでメールしました。」

これからも誰とでも ともに歩むことのできる心優しい富士見っ子でいてくださいね。

阪神淡路大震災 平成7年1月17日  
(※写真提供:神戸市)



## 2月の生活目標

二月  
「ふ・じ・み」の  
あいさつをしよう

ふだんから、じぶんから、みんなで目を見て  
あいさつできると気持ち良いですね！